

様式

自己評価委員会報告書

自己評価委員会委員長

実施機関から提出された自己評価等報告書について、下記のとおり助言したので、委員会意見を付して報告します。

令和7年6月19日

(対象年度)

対象年度	令和6年度(2024年度)
------	---------------

(評価対象)

実施機関名	<ul style="list-style-type: none">・ 学科 国際コミュニケーション学科、健康栄養学科、デザイン環境学科・ 委員会 教務委員会、厚生委員会、進路支援委員会、広報委員会、入試委員会、科学研究委員会、地域連携センター運営委員会、データ駆動科学教育研究センター運営委員会、自己評価委員会・ 事務局
-------	---

(主な助言)

<p>(全体及び各実施機関)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和7年度全学科で定員割れをしている状況をふまえ、入学定員確保に向けて、令和7年4月2日付け「R7年度運営に当たって(学長方針)」で指示されている項目に関して取り組むとともに、以下について早急に取り組む必要がある。(共通) <p>(学科)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各学科は、入試委員会、教務委員会、広報委員会、厚生進路委員会、CeNCER運営委員会、DS委員会と連携し、学生目線から学科の教育研究の魅力を高め、アピールするための方策に取り組む必要がある。(共通) <p>(委員会・事務局)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 委員会、事務局は、各学科及び必要に応じて他の委員会と連携し、学生目線から、本学の魅力を高める方策に全力で取り組む必要がある。(共通)
--

(自己評価委員会意見)

<ul style="list-style-type: none">・ 各学科において前年度と比較して、休学者が増えており、学生の支援体制を点検する必要があることから、5月、10月の学修ポートフォリオ面談時や他の学生との接触の機会を捉え、学生の悩み等を確認し、原因を把握するとともに学科及び事務局とも連携して必要となる事項に対応すること。・ 令和5年度認証評価では、学科の収容定員充足率が1を切っており、学科の定員管理の徹底の是正勧告を受けているが、各実施機関において、学長方針及び各々の役割について取り組まれているものの、各学科の令和7年度入学数及び入試委員会において、重点目標に対する達成度が前年度より低い結果となっている。R8年度入学者選抜に向け、至急、改善するための措置を学科及び各委員会において令和7年度中に実施又は計画すること。

添付資料

- ・ 自己評価等報告書(実施機関作成)
- ・ 自己評価等報告書に関する助言(自己評価委員会作成)